

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立玉幡小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語・算数ともに、全国をやや下回る平均正答率となっています。
- ・国語では、「書くこと」の「自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」ことが全国を上回っており、日頃から児童一人一人に課題意識を持たせながら、対話的な学習活動を取り入れて自己表現に取り組んできた成果のあらわれと考えられます。一方で、集めた材料を分類したり関連づけたりして伝えたいことを明確にすることや、文の中における主語と述語との関係を捉えることに課題がみられます。
- ・算数では、「数と計算」のわる数が小数のわり算や、計算の性質を活用して求め方を式や言葉で記述することが全国を上回っています。一方、「データの活用」では、情報を基に必要な数値を読み取って式に表して基準値を超えるかどうかを判断することについては課題がみられます。
- ・国語・算数ともに無解答率が高い傾向がみられます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目
「先生は自分のよいところを認めてくれている」「地域や社会をよくするために何かしてみたい」「学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」について高い割合を示しています。
- ・課題となる項目
「テレビゲーム（コンピュータ、スマートフォン等も含む）」や「SNSや動画視聴」を普段2時間以上する児童の割合が全国に比べて高いです。
「学校が休みの日に勉強しない」とした児童の割合が全国よりも高いです。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・学習に対して児童の意識が向上するように、学校生活の様々な場面において、発表したり説明したり意見交換をしたりするなど、児童が主体的に学習に取り組む「対話的な学びの場」をこれからも工夫していきます。
- ・課題に基づいて資料や素材を分別し、関連性を考察する活動を通して、自分で判断する力を高めるとともに、情報の共有を通じてより広い視点をもつことができるように、計画的に取り組んでいきます。
- ・学習課題や諸活動への取組を認め合う機会をもち、最後まで粘り強く取り組む姿勢や、達成感および自己肯定感の向上を図っていきます。
- ・家庭と連携を取りながら、復習や練習に取り組めるように児童に働きかけ、言語や四則計算等の基礎学力の確実な定着を図って行きます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・子どものやる気を引き出し、学習習慣を定着させるために、家庭学習に取り組む子どもに対して励ましや賞賛の言葉をかけてあげてください。
- ・子どもの一日の過ごし方を把握するとともに、時間や遊び方等についての「我が家のルール」を親子で共有し、これを守るように見守ってください。
- ・子どもの話には耳を傾け、よき聞き手になるとともに、親子で共有できる時間を大切にしてください。